

## 2023年度 環境安全活動の目標と達成

★★★達成、★★ほぼ達成、★未達

## 共通

2023年度目標	2023年度実施結果	達成度	2024年度目標
安全価値観の醸成	安全文化の醸成、安全基盤の強化 ライフセービングアクション(LSA)活動を推進し、重篤 労災「0」を達成	★★★	安全の「価値観」の醸成 現場との対話機会創出 重点化の取り組み(事業本部、事業会社と協業) 安全文化の重要性の浸透を狙った安全大会の活用 環境安全組織の強化と専門人財の育成
環境安全専門人財の育成	新卒採用については、2024年度新卒2名、(昨年と合 わせて)4名の環境安全人財を地区拠点部場と共に育 成中	★★	各拠点の環境安全体制整備 環境安全人財の育成強化 専門家の育成と確保(社内、社外コンサル・OB活用)
事故災害時の情報共有化体制の構築	事象発生時の連絡体制(速報発信)及び本社での情 報共有体制を確立	★★★	—
海外拠点安全管理支援	中国は、拠点に対して統括会社を中心に支援 米国カウンシルでは、「人命を守るためのルール」を策 定し、展開中	★★	海外拠点安全管理支援 グループ環安規程類の改定 海外拠点リスク把握活動 海外グループ安全協議会等への参画 中国現法のFHS支援強化

## 環境保全

2023年度目標	2023年度実施結果	達成度	2024年度目標
環境事故、環境重大トラブルゼロの継続 環境トラブル(水質大気等)ゼロ	環境汚染事故、重大トラブルの発生なし 水質大気等トラブル:0件発生 フロン漏えいトラブル:9件発生	★★★	環境事故、環境重大トラブルゼロの継続 環境トラブル(水質大気等)ゼロの継続
産業廃棄物の発生抑制と再資源化推進 プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制お よび再資源化等を推進 ・原単位の向上等で排出量抑制を推進 ・プラスチック使用製品産業廃棄物等の再資源化率 向上を推進	プラスチック資源循環促進法に基づく廃プラの発生量 および処理の実態把握を実施 プラスチック使用製品産業廃棄物等の再資源化率向 上未達(22年度:47.4%→23年度:46.6%)	★★	産業廃棄物の発生抑制と再資源化推進 プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制お よび再資源化等を推進 ・原単位の向上等で排出量抑制を推進 ・プラスチック使用製品産業廃棄物等の再資源化率 向上を推進
生物多様性保全の推進 ・次期生物多様性国家戦略に沿った取り組み推進 ・生物多様性に関する従業員への啓発活動の推進	30by30アライアンスへの参加し、富士支社「あさひ・い のちの森」が30by30に認定 従業員が自然に親しむ取り組みとして、「まちもり」いき もの“色”ウォッチングを開催	★★★	生物多様性保全の推進 ・次期国家戦略に沿った30by30の推進 ・「生物多様性ガイドライン」の周知による教育・啓発

## 地球環境対策

2023年度目標	2023年度実施結果	達成度	2024年度目標
第三者保証による算定精度向上 新規システムの運用によるモニタリングおよびデー タの活用を推進 バウンダリを含めた算定精度の向上	第三者保証を通して算定方法の改善、排出係数の精 度向上を実施 GHG見える化システム(GGX)の導入検討を実施 海外事業所のデータ収集範囲を拡大	★★	GHG排出量データの見える化と活用、およびGXリー グ参加に伴うデータ管理 第三者保証の指摘事項を含めた担当者教育の継続 実施 購買部と連携したScope3算定精度向上の検討
改正省エネ法、温対法に沿った対応の推進	報告に関する新システム(EEGS)への対応を実施 改正省エネ法、温対法への対応を実施	★★★	法改正に伴う関係先との調整およびエネルギー定期 報告書、中長期計画書の作成 法改正に伴うパフォーマンスシステム改修

## 保安防災

2023年度目標	2023年度実施結果	達成度	2024年度目標
保安重大事故ゼロ	保安重大事故:発生なし	★★★	保安重大事故ゼロ
保安事故ゼロ	保安事故:発生なし	★★★	保安事故ゼロ
保安事故強度:0.5以下(平均)	保安事故強度:0.46	★★★	保安事故強度:0.5以下(平均)

## 労働安全衛生

2023年度目標	2023年度実施結果	達成度	2024年度目標
重篤労働災害ゼロ(*)	重篤労働災害:死亡・後遺症災害ゼロ	★★★	死亡・後遺症災害ゼロ
重篤労働災害ゼロを前提として、数値目標は下記			上記以外の休業災害の数値目標は下記
<国内従業員> 休業災害度数率≤0.1	<国内従業員> ・休業災害度数率:0.34	★	<国内従業員> 休業災害度数率≤0.1
休業災害強度率≤0.005	・休業災害強度率:0.003	★★★	休業災害強度率≤0.005
<海外従業員> 海外休業災害度数率≤0.9	<海外従業員> ・休業災害度数率:1.37	★	<海外従業員> 海外休業災害度数率≤0.9

(\*)重篤労働災害:死亡および後遺症災害